BWB-627HR/HRV/99.10 02.7.15 3:16 PM　ページ1

TANITA 精密体重計保証書

本書は、本書記載内容（無料修理規定）で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品　名	BWB-627HR/HRV	
保証期間	本　体	お買い上げ日より 1ヶ年
お買い上げ日	年　月　日	
お客様	ご住所 お名前　様 電　話　（　）	
販売店	住所・店名 電話　（　）	

アフターサービスについて

- 保証書は、必ず販売店などの所定事項の記入内容をお確かめになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
  保証期間は、お買い上げ日より1年です。
- 操作方法やトラブルなどのお問い合わせ、修理のご依頼、または消耗品などのご注文は、本品をお求めいただいた販売店にご連絡ください。
- その他、お気づきの点がありましたら、右記弊社お客様サービス相談室へお問い合わせください。

株式会社 タニタ

本社・東京営業所	〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2	☎03（3558）8111(代表)
大阪営業所	〒577-0013 東大阪市長田中1-147	☎06（6784）2811(代表)
名古屋営業所	〒460-0011 名古屋市中区大須1-24-51	☎052（201）6391(代表)
福岡営業所	〒816-0082 福岡市博多区麦野4-2-6	☎092（575）5761(代表)
仙台営業所	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-8	☎022（299）7161(代表)
札幌営業所	〒007-0834 札幌市東区北34条東22-1-35	☎011（786）5611(代表)

お問い合わせ先　フリーダイヤル 0120-133821
受付時間 / 9：00～17：00（土・日・祝祭日は除く）
お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

BWB6276801(1)

TANITA

精密体重計
BWB-627HR

音声

精密体重計
BWB-627HRV

型式承認取得品

取 扱 説 明 書

保証書付

このたびは、タニタ精密体重計をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。タニタ精密体重計を正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。本器は精密機器につき絶対に分解しないでください。

この取扱説明書は必要なときに、すぐに取り出して読めるようにできる限り身近に、大切に保管してください。この取扱説明書をよく読んで理解してから、製品を使用してください。

目　次

□ 目次……2

□ 基本仕様……2

□ 絵表示について……3
⚠警告……3
⚠警告……3
⚠注意……3
⚠……3

1.製品構成及び各部の名称……4
■製品構成……4
■各部の名称……5
■組立方法……6
■各種スイッチの機能（HR）……9
■各種スイッチの機能（HRV）……9

2.ご使用前の準備……10
■移動方法……10
■計量の準備……10

3.ご使用方法……11
■正しい乗り方……11
■通常の計量……11
■風袋引き計量……12
■プリセット風袋引き計量……12
■トラブル一覧……13

□ 使用区域一覧……14
□ 無料修理規定……15
□ 保証書
□ アフターサービスについて

基　本　仕　様

品　名	BWB-627HR	BWB-627HRV
はかりの型式	電気抵抗線式はかり	
精度等級	M　級	
ひょう量	200kg	
目量	50g	
使用範囲	1kg～200kg	
最大風袋量	99.95kg	
使用温度範囲	0℃ ～ +35℃	
電　源	単2アルカリ乾電池（AM2）×6本（別売） ACアダプター（出力DC9V、300mA以上センターマイナスプラグ）	
消費電力	0.2W（以下）	2.7W（以下）
表示方法	LCD（液晶）表示（文字高さ25mm）	
計量台寸法	450×540（mm）	

本製品及び付属の説明書は、計量法で用いられる用語で表記されておりますので、下記の用語説明をよくお読みになられた上でお使いください。

■ひょう量（ひょうりょう）
はかりの計量できる最大の重さを表します。
【例】ひょう量200kg：200kgまではかることができます。
※ひょう量を超える重さのものは、はかることができません。

■目量（めりょう）
はかりの1つの目盛りの量を表し、デジタル表示のはかりの場合、数字が切り替わる間隔を表します。
【例】目量50g：表示が50g間隔で増減します。

■風袋引き（ふうたいびき）
重さをはかるときに使う容器、袋、包装紙等を「風袋（ふうたい）」と呼びます。そして、風袋の重さを差し引いて正味量をはかることを「風袋引き（ふうたいびき）」といいます。
この機能を利用して、赤ちゃんの体重をはかることができます。（12ページ）

■プリセット風袋引き（ぷりせっとふうたいびき）
あらかじめ風袋の重さを設定できる機能で、風袋の重さがわかっている場合に使用します。
体重計では、あらかじめ着衣の重さを設定することによって、着衣の重さを引いた体重をはかることができます。

絵表示について

絵表示について

この取扱説明書及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、感電により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害の発生が想定される内容を表示しています。
⚠　取扱いに際して一般的な注意が必要な内容を表示しています。

⚠警告
- **転倒防止のため、必ず介護者が付き添ってお使いください。**
- **転倒する恐れがありますので、本器は必ず安定のよい平らな場所に設置し、調整脚で水平を調節、確認し、お使いください。**
- **転倒する恐れがありますので、各部の取付けはしっかり、確実に行ってください（11ページ『正しい乗り方』をご参照ください）。**
- **計量台に乗るときは、必ず補助フレームのグリップマークに順手でつかまり乗ってください。転倒する恐れがありますので、それ以外のところへは絶対につかまらないでください。**

⚠警告
- **専用ACアダプターでご使用の場合、感電の原因となることがありますので、濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。**
- **ACアダプターでご使用の場合、火災の原因となることがありますので、正しく配線されたAC100Vをご使用になり、タコ足配線をしないでください。**

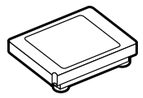
⚠注意
- **転倒してケガをする恐れがありますので、絶対に飛び乗らないでください。**
- **本器は、第二種情報処理装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）基準に対応した装置ですが、ラジオ、テレビに隣接してご使用になると受信障害の原因になることがあります。また、病院等設備での電波障害を受けやすい電子機器については、本器からの電波障害がないことを確認の上ご使用ください。**
- **移動時には、ACアダプターを本体から抜いて移動してください。**
- **ACアダプターでご使用の場合は、製品の性能、品質の維持のため必ず専用ACアダプターをご使用ください。**

⚠
本器は精密に作られ、調整されていますので、下記の事項を守りご使用ください。
- **故障のもとになりますから、絶対に分解しないでください。**
- **本製品には使用区域を示すシールが貼られています。このシールに示されている区域以外では使用しないでください。**
- **学校、病院、保健所等で体重証明用として使用する場合は、都道府県または特定市が行う定期検査（2年に1回）を受ける必要があります。**
- **表示ボックス裏面にある封印シールは絶対にはがさないでください。体重証明用や取引証明用として使用できなくなります。**
- **過度の衝撃や振動を与えないでください。**
- **直射日光の当たる場所や熱器具の近くを避けてご使用ください。**
- **温度変化の激しい場所でのご使用は避けてください。**
- **ベンジン、シンナー等で拭かないでください（汚れた場合は中性洗剤をご使用ください）。**
- **湿気の多い場所や、ほこり、振動が激しい場所に保管しないでください。**
- **長期間ご使用にならない場合は、乾電池を外して保管してください。**
- **組立て時、電池交換時には、計量部に過度な力が加わらぬように注意してください。**
- **20℃以上の温度差のある場所に移動させた場合、2時間以上放置してからご使用ください。**
- **輸送する場合は、本製品の入っていた梱包箱を使用してください。**

1.製品構成及び各部の名称

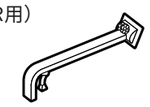
■製品構成　下記の内容物をご確認ください。

本体

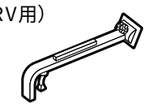


ポール

（HR用）

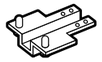


（HRV用）

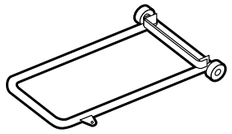


表示ボックス

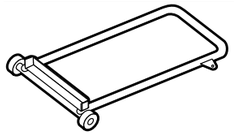
ポールホルダー



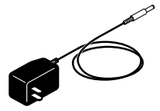
補助フレーム(右)



補助フレーム(左)



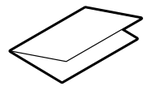
ACアダプター



六角レンチ

補助パイプ

取扱説明書



ビス

補助フレーム取付用（M4×0.7L8）×14個

表示ボックス取付用（M4×0.7L8）×4個

補助パイプ取付用（M6×1L12）×2個

ポールホルダー取付用（M5×0.8L14）×4個

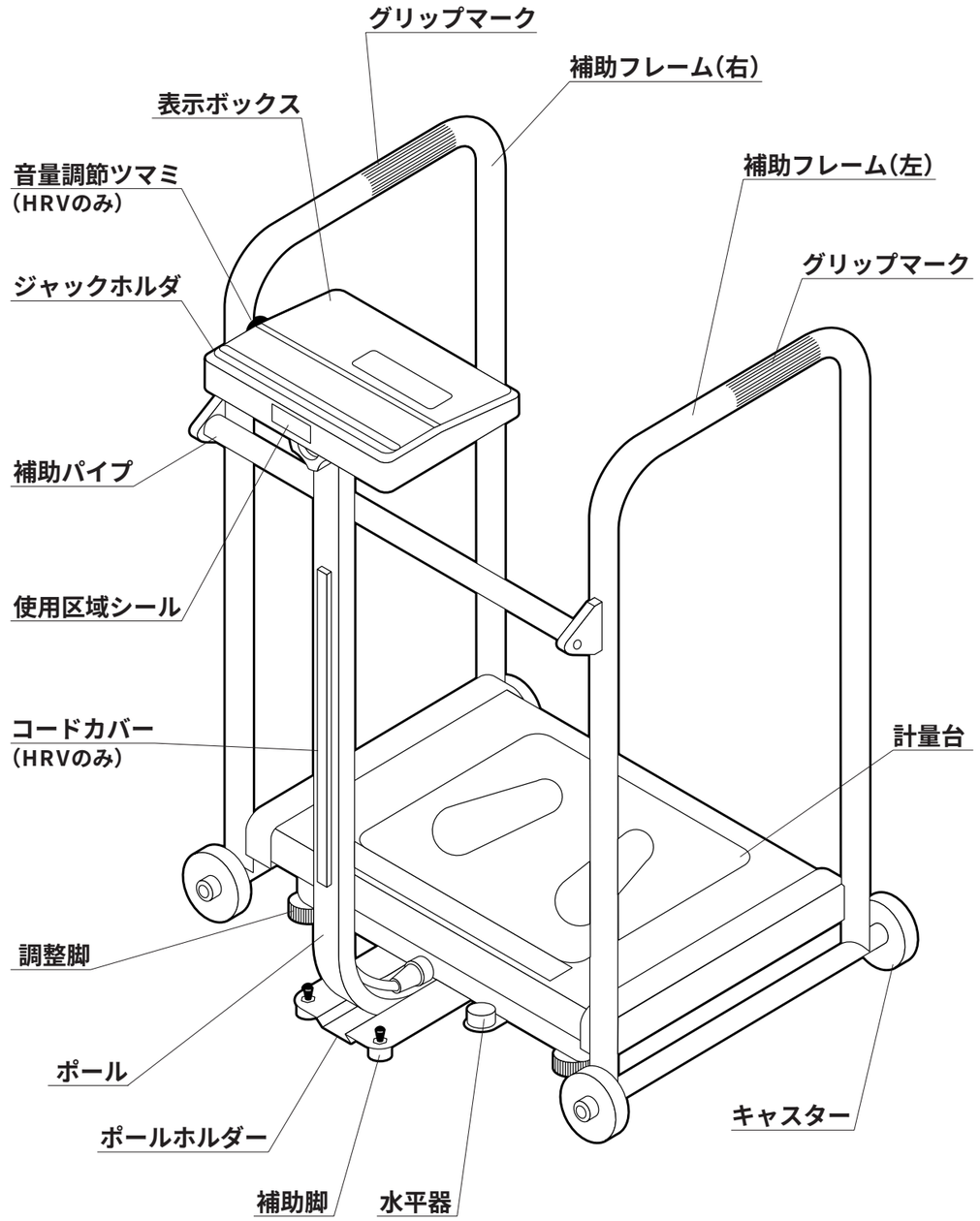
ワッシャー

表示ボックス取付用（M4用）×4個

ポールホルダー取付用（M5用）×4個

補助パイプ取付用（M6用）×2個

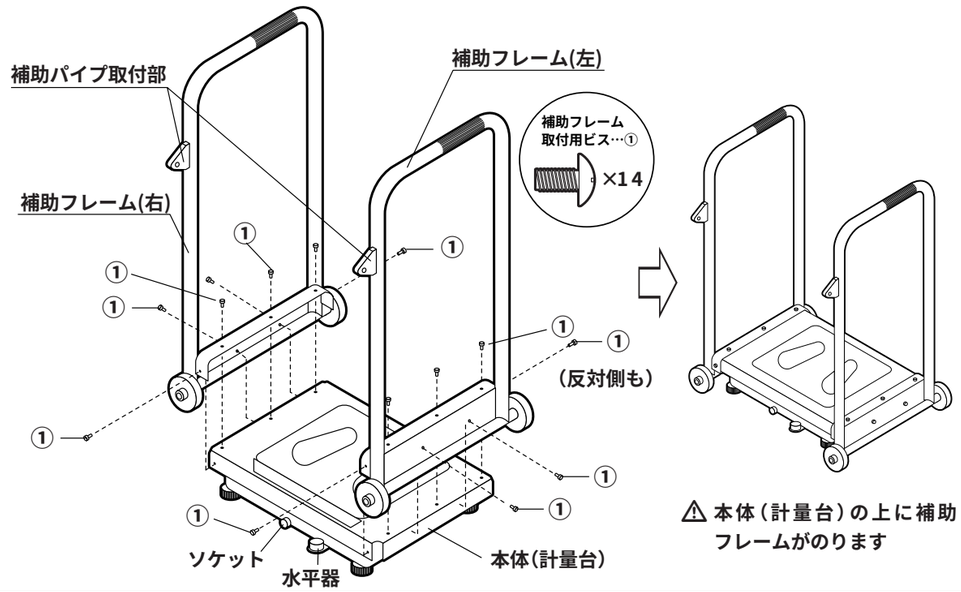
■各部の名称



■組立方法（補助フレームの取り付け）

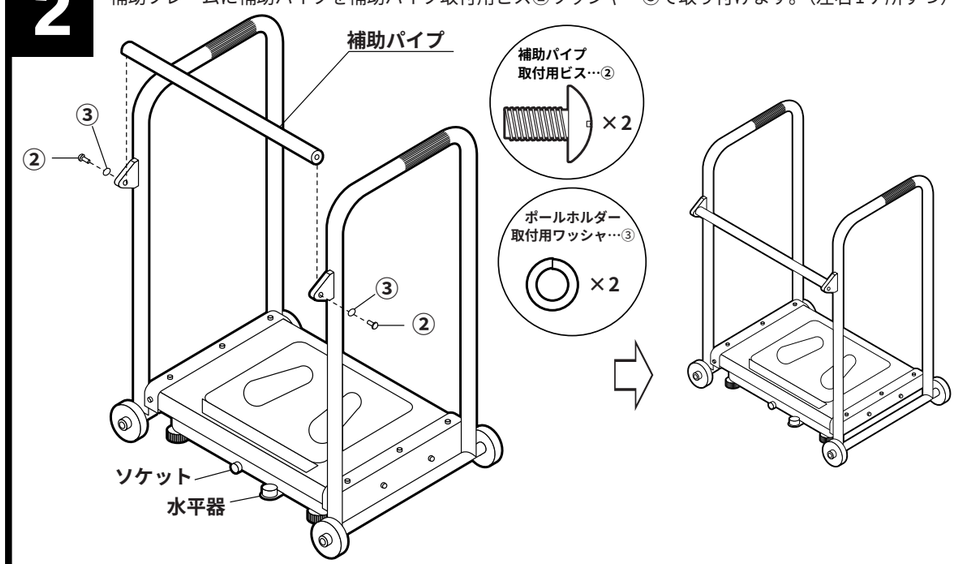
本体（計量台）に補助フレーム（左右）を取り付けます。　※イラストの向きに合せて作業してください。

1 本体（計量台）の上面に補助フレーム（左右）を補助フレーム取付用ビス①で取り付けます。（左右3ケ所ずつ）
※本体（計量台）及び、補助フレームの向きに注意をして取り付けます。
本体（計量台）の正面、背面も補助フレーム取付用ビス①で取り付けます。（左右2ケ所ずつ）



⚠ 本体（計量台）の上に補助フレームがのります

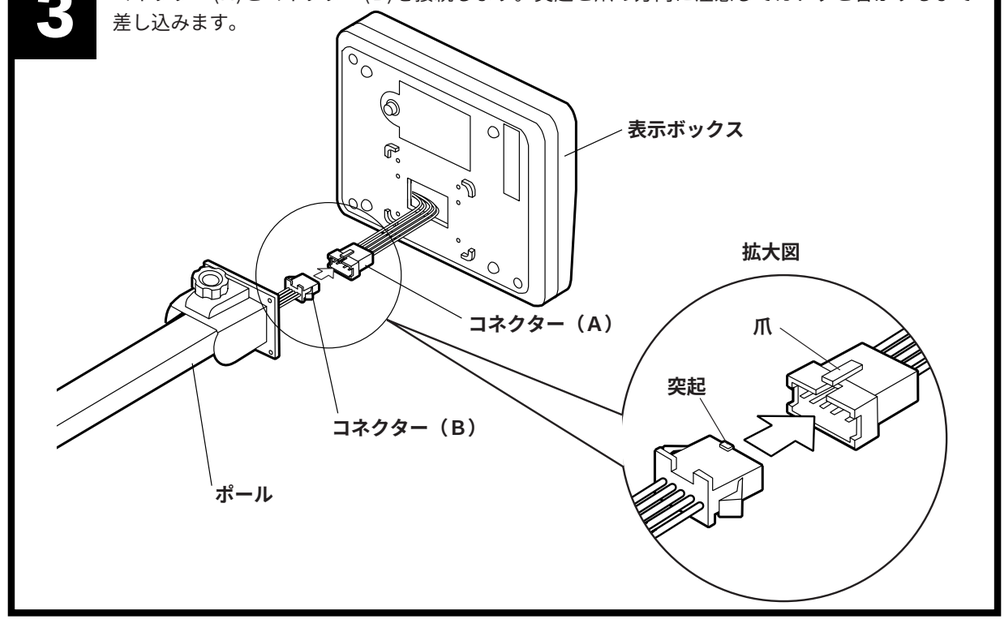
2 補助フレームに補助パイプを補助パイプ取付用ビス②ワッシャー③で取り付けます。（左右1ケ所ずつ）



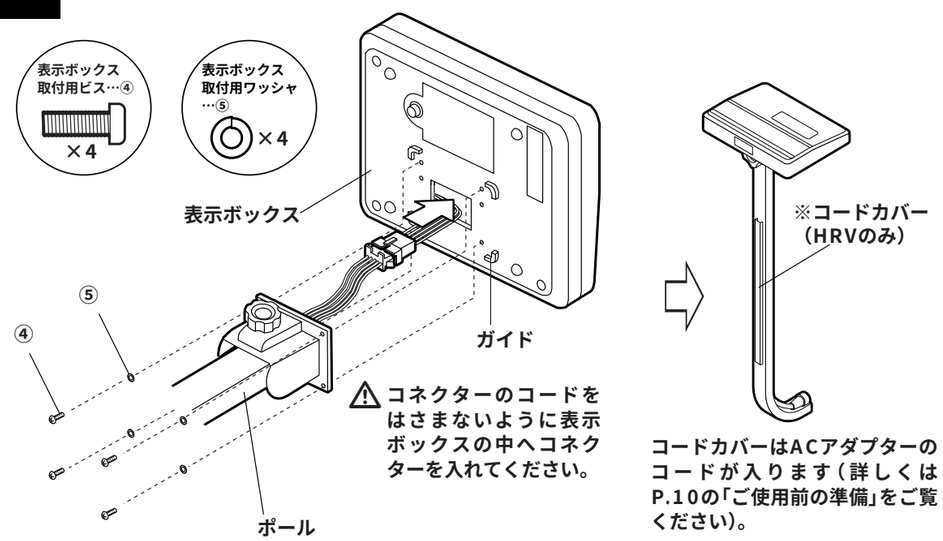
■組立方法（表示ボックスの取り付け）

ポールに表示ボックスを取り付けます。

3 コネクター(A)とコネクター(B)を接続します。突起と爪の方向に注意してカチッと音がするまで差し込みます。



4 表示ボックス取付用ビス④と表示ボックス取付用ワッシャ⑤で表示ボックス裏面のガイドに合わせポールを取り付けます。（4ケ所）



⚠ コネクターのコードをはさまないように表示ボックスの中へコネクターを入れてください。

コードカバーはACアダプターのコードが入ります（詳しくはP.10の「ご使用前の準備」をご覧ください）。

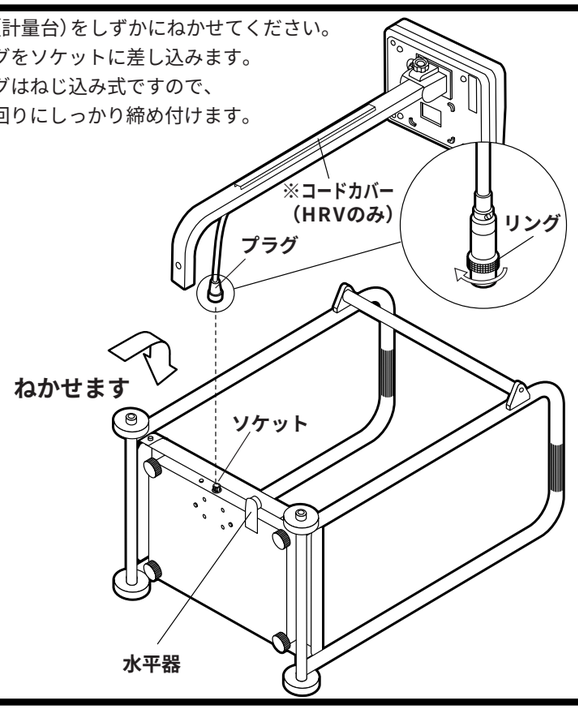
⚠ **組立作業中は、電源（ACアダプター）及び、電池は抜いておいてください。**

■組立方法（ポールの取り付け）

本体(計量台)にポールを取り付けます。

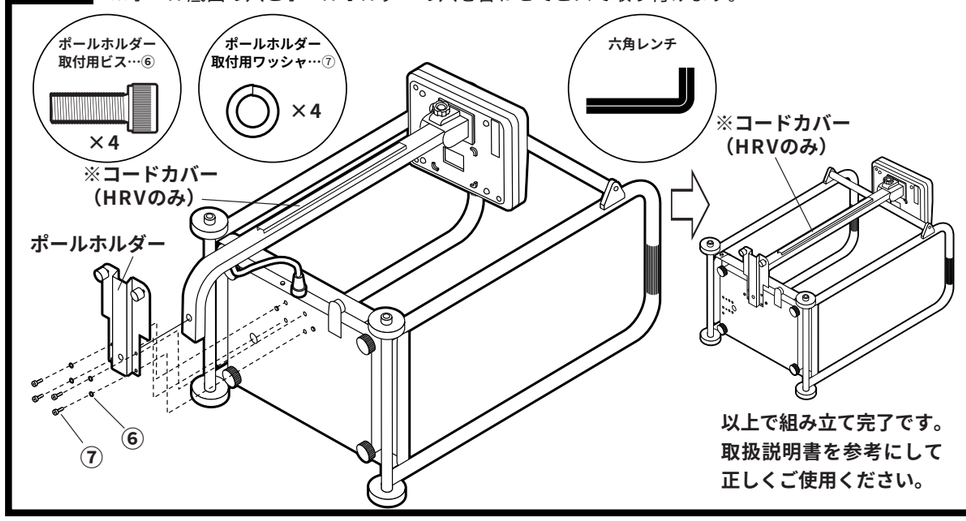
5

A.本体(計量台)をしずかにねかせてください。
B.プラグをソケットに差し込みます。
C.リングはねじ込み式ですので、
　時計回りにしっかり締め付けます。

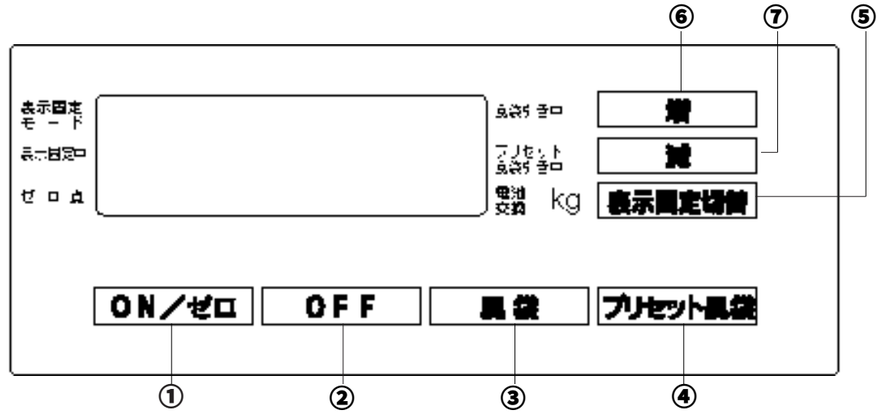


6

ポールホルダー取付用ビス⑥とポールホルダー取付用ワッシャ⑦でポールとポールホルダーを本体(計量台)に付属の六角レンチを使用して取り付けます。(4ケ所)
※ポール底面の穴とポールホルダーの穴を合わせてビスで取り付けます。

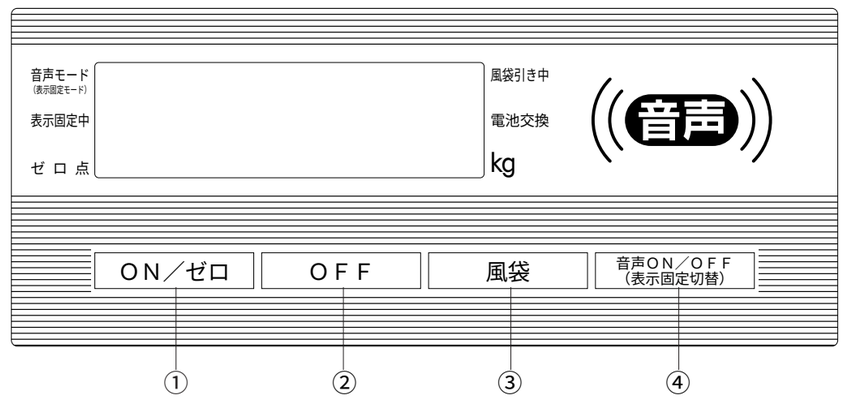


■各種スイッチの機能(HR)



① ON／ゼロ　電源をオンする時及び、ゼロリセットをする時に使用します。
② OFF　電源をオフする時に使用します。
③ 風　袋　風袋引き計量をする時に使用します。
④ プリセット風袋　あらかじめ一定の風袋量を設定して計量する時に使用します。
⑤ 表示固定切替　このキーを押すごとに、表示固定機能のオン／オフを行います。
⑥ 増　プリセット風袋量の設定に使用します。
⑦ 減　プリセット風袋量の設定に使用します。

■各種スイッチの機能(HRV)

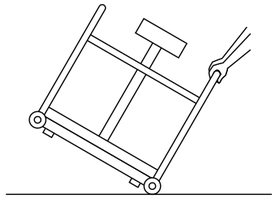


① ON／ゼロ　電源をONし、ゼロ点を決定します。
② OFF　電源をオフします。
③ 風　袋　通常の風袋引き計量に使用します。
④ 音声ON/OFF (表示固定切替)　このキーを押す毎に、音声（発声）のON／OFFの切り替えを行います。「音声モード（表示固定モード）」◀が点灯していれば発声して体重をお知らせします（このとき表示は固定されます）。点灯していなければ、発声されず、表示固定されません。

2.ご使用前の準備

■移動方法

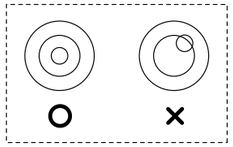
右図のように傾けると、簡単に移動させることができます。



⚠警告 本体重量が重いため、移動は必ず介護者が行ってください。

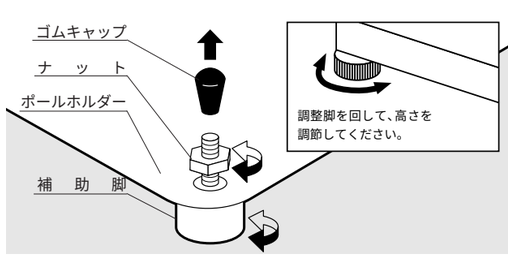
⚠注意 本体重量が重いため両手でしっかりもって移動してください。

■計量の準備



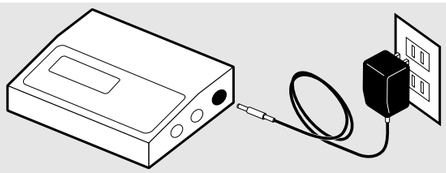
水平の確認

必ず平らな場所で、水平器の気泡が枠の中心に来るよう4ヶ所の調整脚を調節してください。



補助脚の調整方法

①ゴムキャップを外します。
②ナットをゆるめます。
③補助脚を回して高さを調節します（軽く床につく位置に合わせます）。
④ナットを締めます。
⑤ゴムキャップを戻します。これで準備は完了です。



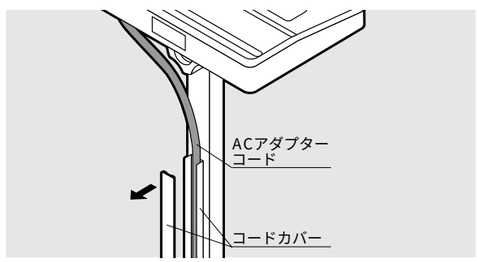
電源の確保

ACアダプターを使用の場合

ACアダプターまたは単2アルカリ乾電池6本（AM2）をご使用ください。

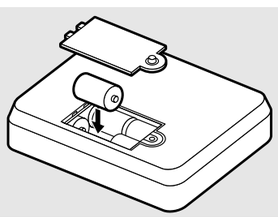
（HR） ACアダプターのジャックを表示ケースの側面のジャックホルダーに差し込み、ACアダプターを100Vコンセントに差し込んでください（必ず当社純正品を使用してください）。

（HRV） 表示ボックス側面の孔（ジャックホルダー）に差し込んでください（必ず当社純正品を使用してください）。また、コードはポール裏面のコードカバーに通し、蓋をしてください。



乾電池を使用の場合

表示ボックス裏側のバッテリーボックス蓋を外し、乾電池を取付部に表示されている方向に正しく入れて蓋をしてください。画面に [Lo] が表示され、「電池交換」▶が点灯したら、電池を6本全部交換してください。

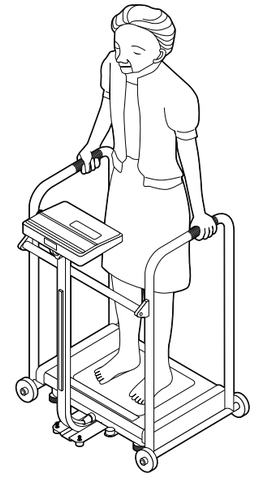


⚠注意 乾電池が落下する場合がありますので、注意して電池交換してください。

3.ご使用方法

■正しい乗り方

右図のように必ず補助フレームのグリップマークに両手でつかまってお乗りください。



⚠警告 転倒防止のため、必ず介護者が付き添ってお使いください。

■通常の計量（風袋を使用しないで計量する場合）

●異常表示

計量台に乗ったまま [ON/ゼロ] スイッチを押すと、異常表示が出る場合があります。

計量台の上に何も乗っていないことを確認の上、[ON/ゼロ] スイッチを押して [0.0.0] の表示を確認してからお乗りください。

●オーバーフロー表示（ [-----] ）

ひょう量を超える計量物を乗せた時、[-----] を示します。

① [ON／ゼロ] スイッチを押します。

[88888] 表示が点滅します。

② 計量台に乗ります。

[0.0.0] と表示されましたら、静かに計量台にお乗りください。

計量中は身体をゆすらないでください。

③ 計量台に乗り計量します。

身体のゆれが安定するとブザー音と同時に「表示固定中」◀が点灯し体重を表示します。

※HRVは体重が発声されます。

（（ 55.25キログラム ））音声

④ [O F F] スイッチを押すと電源が切れます。

※ 連続して計量する場合は、計量台から降り、[0.0.0] を表示確認した後、再計量してください。

※ 表示固定を解除する場合は

HR： [表示固定切替] スイッチを押してください。

HRV： [音声ON/OFF（表示固定切替）] スイッチを押してください。

■風袋引き計量（例:赤ちゃんを抱いて赤ちゃんの体重を測定する場合）

HRをご使用の方へ：風袋引き中にプリセット風袋量を設定することはできません。

① 赤ちゃんを抱かない状態で、「通常の計量」①～③の操作を行い、あなたの体重を表示固定させます。

② 計量台に乗ったまま 風 袋 スイッチを押します。
ブザー音と同時に「風袋引き中」▶が点灯し、表示が 0.00 になります。

③ 計量台からおります。
体重がマイナス表示されます。

④ 赤ちゃんを抱いて計量台に乗ります。
赤ちゃんの体重が固定表示されます。

※風袋引きを解除する場合は、計量台に何も乗っていないことを確認してから、風 袋 スイッチを押してください。
※風袋引き後の正味重量（例えば赤ちゃんの体重）が2㎏以下の場合は表示は固定しません。
※風袋引き計量をする場合の計量範囲は、風袋重量の分だけ少なくなります。
　　計量範囲 = ひょう量 - 風袋重量

⚠ 最大風袋量を超える風袋引きを行うことはできません。

■プリセット風袋引き計量（衣類等の重量の差し引き計量の場合）

HR のみの機能となります。

① ON／ゼロ スイッチを押して 0.00 になった後、プリセット風袋 スイッチを押します。
※ 点滅している時間は約8秒です。この間に次の操作を行ってください。点滅が停止した場合は再度 プリセット風袋 スイッチを押してください。
「プリセット風袋引き中」▶が点滅します。

② 増 ・ 減 スイッチを押して希望する風袋量を設定します。
（増・減 スイッチは押したままで早送りすることができます。）

③ プリセット風袋 スイッチを押します。
マイナス表示になり、点滅が停止し、風袋量が設定されます。
（プリセット風袋 スイッチを押さなくても自動的に約8秒で設定されます。）

④ 計量台に乗り、計量します。
計量台に乗り表示が固定し、体重が表示されます。

※プリセット風袋引きを解除する場合は、OFF スイッチを押すか、プリセット風袋 スイッチを押し、増 ・ 減 スイッチで設定値を 0.00 にしてください。
※連続して計量する場合は、計量台からおり、 -2.00 （プリセット風袋量）表示を確認してから再計量してください。
※プリセット風袋量を設定した状態で通常の風袋引きを行うことはできません。

オートパワーオフ
本器にはオートパワーオフ機能がついています。
10分間同じ表示が続くと、自動的に電源が切れます。

■トラブル一覧

「故障かな？」と思ったら、修理をご依頼される前に下記の箇所をご確認ください。

トラブル	処　置
ON／ゼロを押しても表示しない	●ＡＣアダプターでご使用の場合 ジャックホルダーとＡＣアダプタージャックの接続、プラグとコンセントの接続を確認してください。 ●乾電池でご使用の場合 乾電池の寿命かもしれません。ＡＣアダプターまたは新しい乾電池で確認してください。
重さ表示がでない	●計量部と表示ボックスのコネクターがはずれていないか確認してください。
正確に計れない	●水平調整した後の水平調整脚が浮いていないか確認してください。 ●振動の激しいところでは正確に計れないことがあります。場所をかえてご使用ください。
発声されない（HRVのみ）	●音量調節ツマミが「小」の方向にしぼられていないか確認してください。 ●音声切り替えが「ＯＦＦ」になっていないか確認してください。

使用区域一覧

重力差の関係で、使用区域により測定値に差が出ます。使用区域シールに記されている区域以外では絶対に使ってはいけません（計量法）。

使用区域番号	使用区域
1	釧路市、北見市、網走市、留萌市、稚内市、紋別市、根室市、宗谷支庁管内、留萌支庁管内、網走支庁管内、根室支庁管内、釧路支庁管内
2	札幌市、小樽市、旭川市、夕張市、岩見沢市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、士別市、名寄市、三笠市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、恵庭市、石狩支庁管内、後志支庁管内、上川支庁管内、空知支庁管内
3	函館市、室蘭市、帯広市、苫小牧市、登別市、伊達市、渡島支庁管内、檜山支庁管内、胆振支庁管内、日高支庁管内、十勝支庁管内
4	青森県
5	岩手県、秋田県
6	宮城県、山形県
7	福島県、茨城県、新潟県
8	栃木県、富山県、石川県
9	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（八丈支庁管内、小笠原支庁管内を除く。）、福井県、京都府、鳥取県、島根県
10	神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県
11	東京都（八丈支庁管内に限る。）、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
12	熊本県、宮崎県
13	鹿児島県（名瀬市、大島郡を除く。）
14	東京都（小笠原支庁管内に限る。）
15	鹿児島県（名瀬市、大島郡に限る。）
16	沖縄県

無料修理規定

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料修理致します。

2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。

3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   ②お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
   ③火災、地震、水害、落雷、塩害、ガス害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
   ④本書の提示がない場合
   ⑤本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

5. 本書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保存してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。